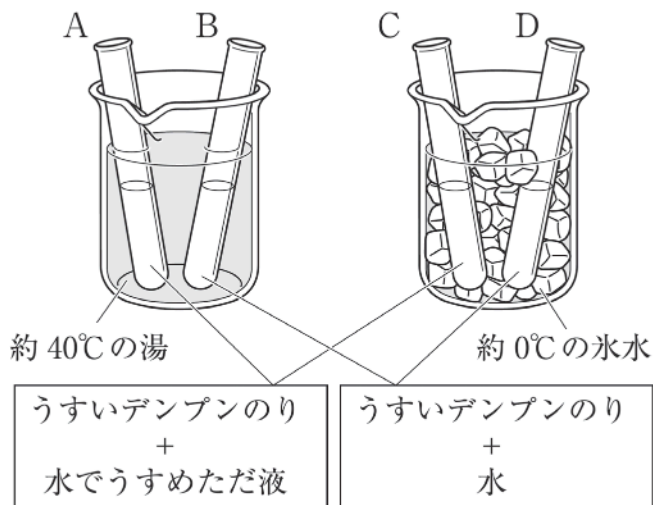


消化と吸収

デンプンの消化 C

 6分

1. 試験管 A～D にそれぞれうすいデンプンのりを 10cm^3 ずつ入れ、A と C には水でうすめただ液 2cm^3 、B と D には水 2cm^3 を加えてよく混ぜた。図のように、A と B は約 40°C の湯、C と D は約 0°C の氷水につけて5分間置いた。次に、各試験管から液を少量ずつとり、ヨウ素液とベネジクト液で色の変化を調べたところ、ヨウ素液による色の変化は、A の液には見られず、B、C、D の液には見られ、ベネジクト液による色の変化は A の液にだけ見られ、B、C、D の液には見られなかった。次の問いに答えなさい。



(1) ベネジクト液による色の変化を調べるには、ベネジクト液を加えた後、ある操作をする必要がある。それはどのような操作か。簡単に書きなさい。

[1]

(2) 次の①、②を確かめるには、どの試験管の実験結果を比較すればよいか。A～D から2つ選びなさい。

① だ液には、デンプンを分解するはたらきがあること。

[2]

② だ液のはたらきは、温度の影響を受けること。

[3]

(3) この実験の結果から、だ液にはデンプンを分解するはたらきがあることがわかった。このように、だ液などが体内に入った食物を別の形に変える目的は何か。簡単に書きなさい。

[4]

(4) だ液にふくまれている、デンプンを分解する消化酵素は何か。

[5]